



温泉街を練り歩く巨  
温泉4丁目

# ひやか春祭り

## 浦安の舞 児童敵かに

小浜若宮八幡神社に奉納

小浜市谷田部の若宮八幡神社で29日、春の例祭が営まれ、女子児童による「浦安の舞」が奉納された。地元小学6年生4人が色鮮やかな衣装を身にまとい、神前で伝統の舞を敵かに舞った。

浦安の舞は1940年に皇紀2600年記念事業として、全国の神社で一斉に奉納されたもの。若宮八幡神社では一昨年断っていたが、1979年に復活した。

浦安は「心の安らか」を意味するとされ、平和を祈る舞と伝えられている。2部に分かれ前半はヒノキの扇を手に、後半は鈴を持って舞う。

神前の舞台に、朱色のはかまや白い羽織を身に着けた「舞姫」の児童が登場。周囲では地元住民らが見守った。舞姫たちは、雅楽に合わせ5人の児童が歌う中、ゆったりとした雰囲気舞を披露した。(佐々木哲也)



泥しぶきを上げながらバレーをする  
参加者=29日、鯖江市大野町

## 泥まみれバレー熱戦

鯖江・片上田んぼで恒例催し

鯖江市片上地区の春祭り「第31回鯖江かたかみ春たんぼ」(福井新聞社後援)は29日、片上公民館周辺と文殊山で開かれた。

好天にも恵まれ、大勢の家族連れらは、田んぼでのソフトバレーやスティーシ発表など多彩な催しを楽しんだ。

田んぼを舞台にした毎年恒例の「田んぼリンピック」は、ソフトバレー、そり引き競争、魚のつかみ取りの3種目。バレーでは、8チームがトーナメント戦で泥だらけの熱戦を繰り広げた。参加者が全身泥をかぶってレシーブしたり、ぬかるみに足を取られて転んだりするたびに、ギャラリから拍手や歓声が上がっていた。

ステージでは、子どもらのダンスや吹奏楽で盛り上がった。100人が参加して長さ約50分のジャンボ巻きずし作りも行われ、会場は多くの人でにぎわっていた。

# 来魅了

## 年感謝込め

敦賀

高市の曲をメドレーで披露するの女と、聞きなじみのある曲にリズムをとる観客の合も。組曲「遙かなる海へ」で締めくくると、客席からはあふれんばかりの拍手が送られた。

萩谷和子代表は「成功の喜びでいっぱい。40周年でもっと素晴らしい歌声を届けたい」と思いを話した。

ゲストステージでは、同市のソプラノ歌手上野



伸びやかな歌声を披露した女声合唱団「ブルメンコア」=29日、敦賀市民文化センター

説子さんとピアニストの加藤絵里子さんが共演。美しいハーモニイを披露した。

(成美宏一)

## 親子ら200人 足取り軽

三十三間

道入り口で開かれた。登り、浜本一夫会長らが山初心者に登りやすい山として知られ、訪れた200人の登山客の前に親子連れが鮮やかな新神事が営まれ、シーズン

# 緑と空 うららかな山

## 初の神事 安全祈願

青葉山(高浜)

開山1300年で企画



高浜町と京都府舞鶴市にまたがる青葉山(693㍎)の山開き式が28日、同町の山麓で開かれた。

テープカットのほか、今年初めて御火焚き神事が営まれた。町民らが燃えるまきの中に祈禱木をくべ、登山客の安全やそれぞれを祈願した。

若狭高浜観光協会や地元市民団体などが主催。今年、青葉山が泰澄の節目の年を迎えたことから、御火焚き神事を企画した。

同日朝に登山口で式典やテープカットを実施。御火焚き神事は同日夕、観光施設「青葉山健康長寿の里ハーバルビレッジ」(同町中山)の芝生広場で営んだ。

広場に祭壇を設置し、そばに長さ約20㍎、幅約3㍎の木を高さ30㍎ほどに



優勝した金山・野坂ベアーズのメンバー=28日、敦賀市きらめきスタジアム

## 金山・野坂ベアーズ 学童ソフトで頂点

ソフトボールの第7回敦賀市学童リーグ戦(福井新聞社後援)が21、28の両日、市きらめきスタジアムで開かれた。優勝決定戦では、金山・野坂ベアーズが3-2で敦賀NSCを下し頂点に立った。

市学童ソフトボール協会が主催し、市内の5チームが出場。リーグ戦で

# ふくい地域ニュース